



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



平成30年2月14日

上場会社名 ぴあ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4337 URL <http://corporate.pia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括 (氏名) 吉澤 保幸

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	124,623	6.0	954	34.3	960	28.6	584	32.1
29年3月期第3四半期	117,575	11.5	1,453	32.6	1,345	29.5	861	1.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 601百万円 (29.1%) 29年3月期第3四半期 848百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	41.55	
29年3月期第3四半期	59.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	41,225	7,180	17.2	508.22
29年3月期	42,776	7,975	18.5	555.68

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,104百万円 29年3月期 7,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		16.00	16.00
30年3月期		3.00			
30年3月期(予想)				13.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	6.5	1,200	33.3	1,100	38.9	700	41.7	49.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	14,649,513 株	29年3月期	14,547,213 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	671,047 株	29年3月期	314,617 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	14,071,887 株	29年3月期3Q	14,358,485 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が継続しているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響もあり、景気の先行きについては引き続き不透明な状況が続きましたが、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、近年の増加トレンドを維持し、好調に推移しました。

このような状況下、中期経営計画の最終年度にあたる当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、引き続き音楽・スポーツ等を中心とするインターネットでのチケット販売が好調に推移し、売上高は期初予想以上に伸長するも、人気興行の獲得経費増による粗利幅の減少、販管費の増加やセキュリティ強化に向けた組織・システム両面での継続的な対策費用等により、最終利益は5億84百万円にとどまりました。

一方、当社がチケット業務の運営を受託している、2019年ラグビーW杯観戦チケットの公式サイトがリリースされ、抽選受け付けもスタートしました。また、2020年東京五輪組織委員会からチケット業務委託者(TSP)の契約候補者に選定されるとともに、みなとみらい地区に2020年開設予定の新音楽アリーナも、予定通り着工しております。

以上の結果、当社グループの第3四半期の業績は、連結売上高1,246億23百万円(対前年同期比106.0%)、営業利益9億54百万円(同65.7%)、経常利益9億60百万円(同71.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億84百万円(同67.9%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「Mr.Children」 「THE YELLOW MONKEY」  
「Animelo Summer Live 2017」  
「嵐のワクワク学校 2017」  
「ROCK IN JAPAN FES. 2017」  
「西野カナ」 「BABYMETAL」 「UVERworld」  
「Hi-STANDARD」 「CNBLUE」  
「B'z」 「東方神起」  
「COUNT DOWN JAPAN」  
「ONE OK ROCK」 「WANIMA」  
「劇団☆新幹線『髑髏城の七人』」

<商品>

「夏ぴあ」 (首都圏版/関西版/東海版他)  
「秋ぴあ」 「冬ぴあ」 (首都圏版/関西版/東海版)  
「食本」 シリーズ (東京、立川、新潟、大津草津、奈良生駒、沖縄他)

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、412億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億50百万円減少いたしました。流動資産は339億90百万円(前連結会計年度末比45億65百万円減)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少(同63億17百万円)、受取手形及び売掛金の増加(同9億46百万円)であります。また、固定資産は72億35百万円(前連結会計年度末比30億15百万円増)となりました。変動の主なものは、アリーナ建設関連費用の増加(同21億79百万円)であります。

負債は、340億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億55百万円減少いたしました。流動負債は334億34百万円(前連結会計年度末比7億42百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同14億73百万円)、前受金の減少(同13億70百万円)であります。固定負債は6億10百万円(前連結会計年度末比13百万円減)となりました。

純資産は、71億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億94百万円減少いたしました。これは、主に配当金2億71百万円の支払による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益5億84百万円の計上等により利益剰余金が3億13百万円増加したこと、譲渡制限付株式としての新株式発行等により資本金が2億81百万円、資本準備金が2億91百万円増加したこと、自己株式を16億97百万円取得したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成29年5月10日に発表いたしました通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成30年2月14日)発表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,851	12,533
受取手形及び売掛金	17,013	17,960
商品及び製品	135	123
仕掛品	11	4
原材料及び貯蔵品	8	9
その他	2,564	3,389
貸倒引当金	△27	△29
流動資産合計	38,556	33,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77	70
工具、器具及び備品(純額)	593	453
土地	6	6
その他(純額)	4	715
有形固定資産合計	680	1,245
無形固定資産		
ソフトウェア	1,025	1,192
ソフトウェア仮勘定	1,102	1,442
その他	59	59
無形固定資産合計	2,187	2,694
投資その他の資産		
投資有価証券	752	747
その他	897	2,865
貸倒引当金	△298	△317
投資その他の資産合計	1,351	3,294
固定資産合計	4,219	7,235
資産合計	42,776	41,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,130	27,603
短期借入金	100	-
1年内返済予定の長期借入金	40	-
未払金	1,414	1,766
未払法人税等	462	209
賞与引当金	310	6
返品調整引当金	475	342
その他	5,244	3,506
流動負債合計	34,176	33,434
固定負債		
退職給付に係る負債	125	124
資産除去債務	63	64
その他	434	421
固定負債合計	623	610
負債合計	34,800	34,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,621	4,903
資本剰余金	792	1,084
利益剰余金	3,361	3,675
自己株式	△790	△2,488
株主資本合計	7,985	7,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	28
為替換算調整勘定	△61	△61
退職給付に係る調整累計額	△48	△36
その他の包括利益累計額合計	△76	△69
非支配株主持分	66	76
純資産合計	7,975	7,180
負債純資産合計	42,776	41,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	117,575	124,623
売上原価	108,599	115,230
売上総利益	8,976	9,392
返品調整引当金戻入額	431	475
返品調整引当金繰入額	260	342
差引売上総利益	9,147	9,525
販売費及び一般管理費	7,694	8,570
営業利益	1,453	954
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	7
諸債務整理益	22	2
持分法による投資利益	—	5
その他	10	2
営業外収益合計	39	17
営業外費用		
支払利息	6	2
持分法による投資損失	139	—
投資有価証券評価損	—	2
その他	1	6
営業外費用合計	147	12
経常利益	1,345	960
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	1,345	969
法人税等	475	374
四半期純利益	870	594
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	861	584

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	870	594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△5
為替換算調整勘定	△0	△0
退職給付に係る調整額	11	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	0
その他の包括利益合計	△21	6
四半期包括利益	848	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	839	591
非支配株主に係る四半期包括利益	8	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式64,600株の取得を行いました。また平成29年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式292,200株の取得を行いました。

この自己株式の取得等の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,697百万円増加し、第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,488百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。